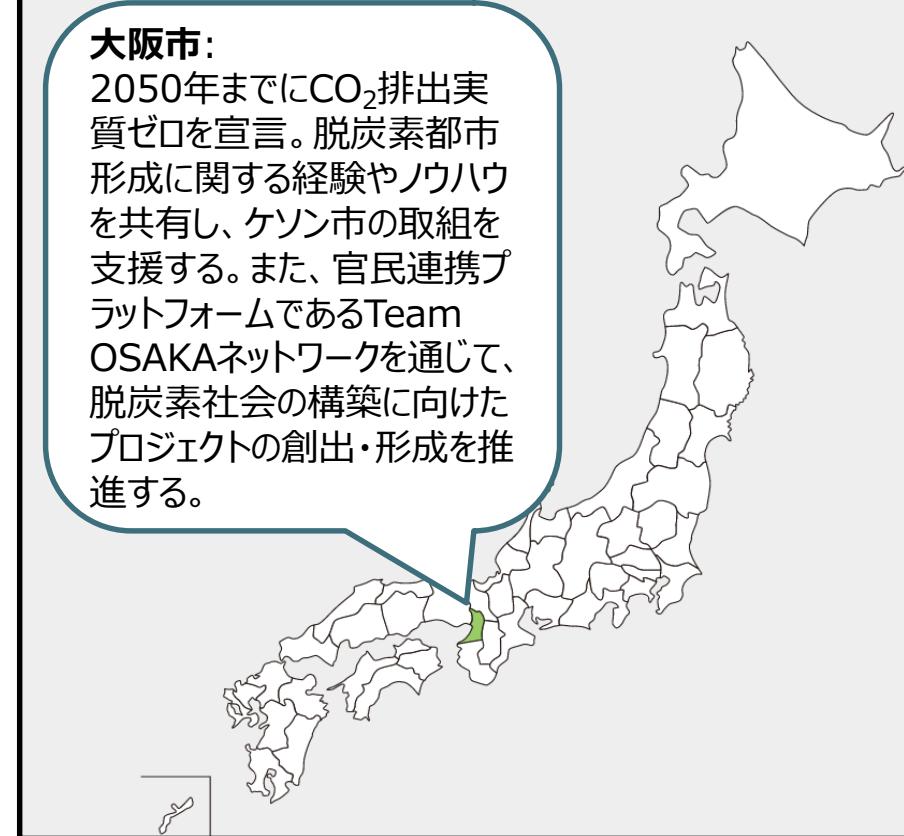


フィリピン共和国ケソン市-大阪市に関する都市間連携

大阪市とケソン市は、2015年度の環境省事業を皮切りに連携を開始し、2017年から都市間連携事業に参画している。2018年には大阪市とケソン市の低炭素都市形成に向けた協力関係に関する覚書を締結し、政策対話をってきた。2021年には覚書を更新し、ケソン市における脱炭素都市形成に向け、さらなる連携の深化・拡充を図っている。

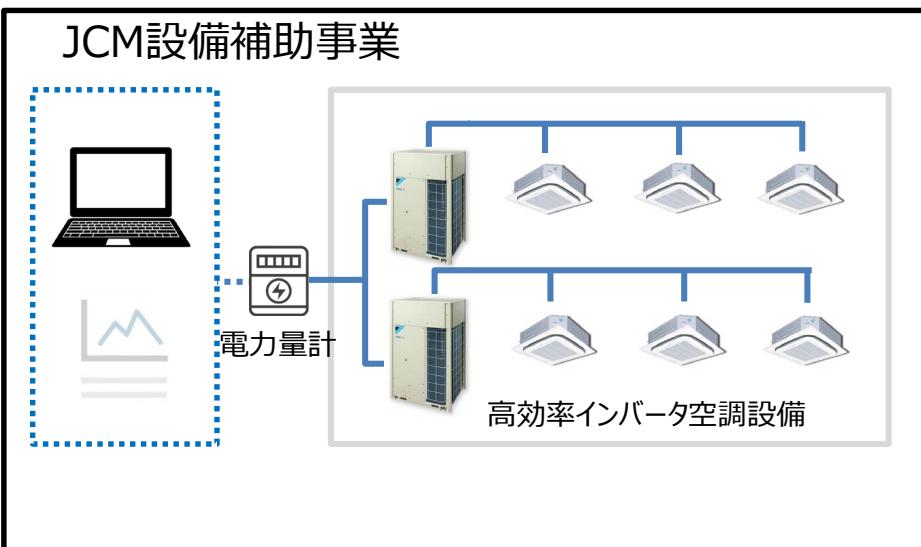
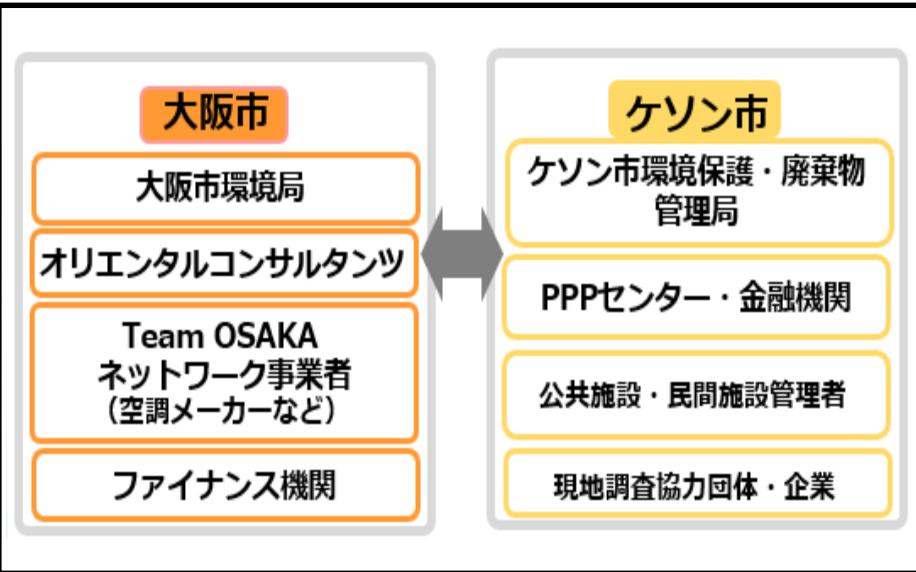


フィリピン国ケソン市:
C40に参加しており、フィリピンを代表する環境先進都市。2030年までにBAU比で30%のCO₂排出削減、2050年までにCO₂排出実質ゼロを目指している。



大阪市:
2050年までにCO₂排出実質ゼロを宣言。脱炭素都市形成に関する経験やノウハウを共有し、ケソン市の取組を支援する。また、官民連携プラットフォームであるTeam OSAKAネットワークを通じて、脱炭素社会の構築に向けたプロジェクトの創出・形成を推進する。

フィリピン共和国ケソン市-大阪市に関する都市間連携



【事業活動】

- ケソン市庁舎の空調更新を対象にJCM設備補助に申請
- 市庁舎以外の公共施設、民間施設への展開可能性を検討
- 空調更新に伴うフロン適正処理の取組支援
- ケソン市環境施策の支援（市庁舎へのLED照明導入、市内バスのEV化、プラスチックごみ削減等）
- コロナ禍における新たなニーズへの対応の検討
- 都市間連携による取組の将来行動計画の策定
- 都市間連携ワークショップを4回開催

【成果】

- ケソン市-大阪市の脱炭素都市形成にかかる協力覚書の更新
- JCM設備補助事業「ケソン市庁舎への省エネ型空調設備の導入」の採択
- フロンJCM事業の実施
- 「ケソン市気候変動対策実行強化計画2021-2050」の分析結果に基づく次年度以降の活動計画案の策定